



証券コード：4694

株主の みなさまへ

第69期 中間報告書

2023年4月1日～2023年9月30日

医療界に信頼され
選ばれる企業をめざす
品質・サービス **No.1**へ





医療界に信頼され 選ばれる企業をめざす

目次

- P1 財務ハイライト
- P2 株主のみなさまへ
- P3 営業の概況
- P5 連結決算の概要
- P7 特集
- P9 株式の状況
- P10 会社概要

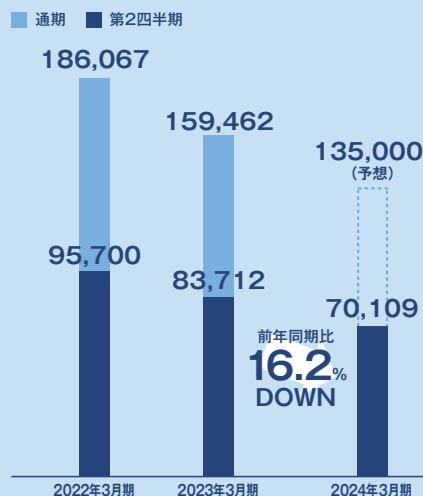
株主のみなさまへ



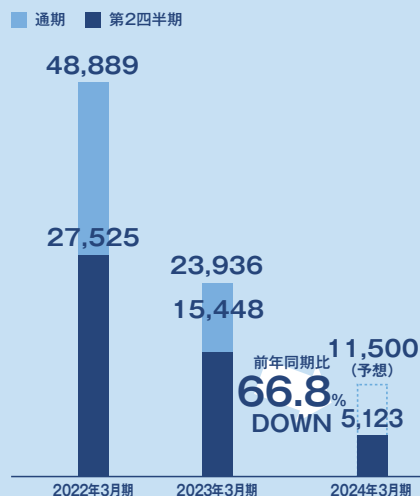
平素は、格別のご高配を賜り、
厚く御礼申し上げます。
ここに、第69期中間報告書
(2023年4月1日～
2023年9月30日)を
お届けするにあたり、
ご挨拶申し上げます。

財務ハイライト

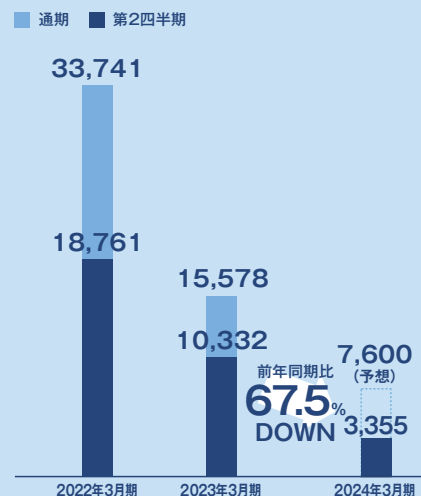
売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (百万円)



当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用及び所得環境に改善の動きが見られ、各種政策の効果もあり緩やかな回復傾向が続きました。しかしながら、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクとなっています。また、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響にも十分注意する必要があります。

このような経済環境のもと受託臨床検査業界におきましては、2年毎に実施されている診療報酬改定年度に当たらず、検体検査に係る保険点数(公定価格)の引き下げはなかったものの、新型コロナウイルス関連の検査数が減少していることに加えて、業者間競争が続いていることから事業環境は引き続き厳しい状況にあります。

こうした中で、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高70,109百万円(前年同期比16.2%減)、営業利益5,123百万円(前年同期比66.8%減)、経常利益5,275百万円(前年同

期比66.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益3,355百万円(前年同期比67.5%減)となりました。当社グループにおきましては、既存検査の受託数・売上高は増加したものの、新型コロナウイルス関連の検査数が減少したことや、インフレに伴う資材コストの上昇の影響により、売上高及び利益ともに減少しました。


2023年度は、第8次中期経営計画(2021年度～2023年度)の最終年度にあたります。

グループビジョンである「医療界に信頼され選ばれる企業をめざす」の飛躍期と位置づけており、これまで取り組んできた品質・サービスの向上を一層推し進めるとともに、アフターコロナの変化を見極めて的確かつ迅速に対応してまいります。

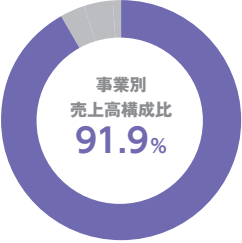
株主のみなさまには、一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 近藤 健介

営業の概況



臨床検査事業



事業別
売上高構成比
91.9%

事業内容

- 臨床検査
- 治験検査

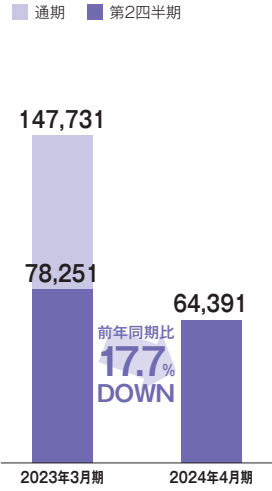
ルーチンから特殊検査まで4,000項目を超える検査を実施しています。

業績
連結
売上高

64,391


百万円

■ 通期 ■ 第2四半期



期間	売上高 (百万円)	前年同季比
2023年3月期	147,731	-
2024年4月期	64,391	17.7% DOWN

新規獲得を図るとともに、既存ユーザーに対する新規検査項目・独自検査項目・重点検査項目拡販等の深耕営業を実施することで業績の拡大を図りました。しかしながら、新型コロナウイルス関連の検査数が減少した影響が大きく、臨床検査事業の売上高は前年同期比17.7%の減収となりました。



食品衛生事業



事業別
売上高構成比
3.2%

事業内容

- 食品コンサルティング
- 食品・環境検査
- 腸内細菌検査

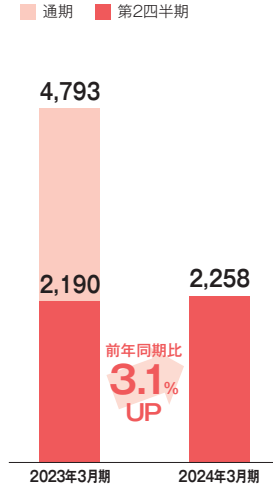
食環境の総合的な衛生管理、消費者の健康と食の安全を支援しています。

業績
連結
売上高

2,258


百万円

■ 通期 ■ 第2四半期

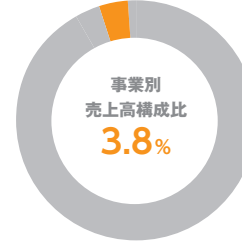


期間	売上高 (百万円)	前年同季比
2023年3月期	4,793	-
2024年3月期	2,258	3.1% UP

社会経済活動が回復したことで、コロナ禍前の環境に戻りつつあります。このような中、店舗点検・微生物検査等の食品検査の受託数が堅調に推移したことで、売上高は前年同期比3.1%の増収となりました。



医療情報システム事業



事業別
売上高構成比
3.8%

事業内容

- 電子カルテシステム
- 開発・販売
- 保守サービス

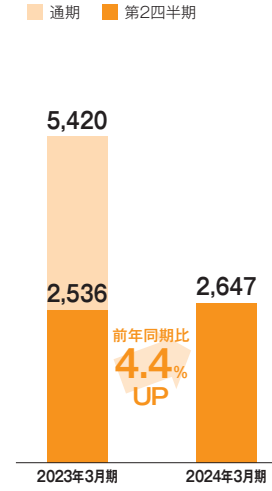
診療所版電子カルテシステム「Qualis」及び「Medical Station」の販売・保守を行っています。

業績
連結
売上高

2,647


百万円

■ 通期 ■ 第2四半期

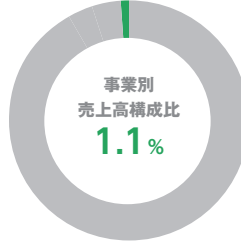


期間	売上高 (百万円)	前年同季比
2023年3月期	5,420	-
2024年3月期	2,647	4.4% UP

オンライン資格確認の導入が増加したことや、保守売上高が設置台数の増加に伴い堅調に推移したことで、前年同期比4.4%の増収となりました。なお、クラウド型電子カルテについては、急速に導入施設数が増加した結果、サービスレベルを維持するためのリソースの増強が必要と判断し、販売を一時停止いたしました。



その他事業



事業別
売上高構成比
1.1%

事業内容

- 調剤薬局
- SMO

調剤薬局事業と高精度検査で医薬品開発をサポートしています。

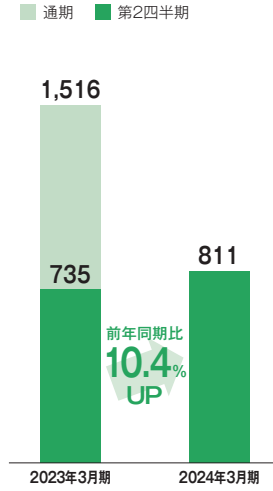
※ SMO: 特定の医療機関（治験実施施設）と契約し、その施設に限定して治験業務を支援する機関。

業績
連結
売上高

811

百万円

■ 通期 ■ 第2四半期



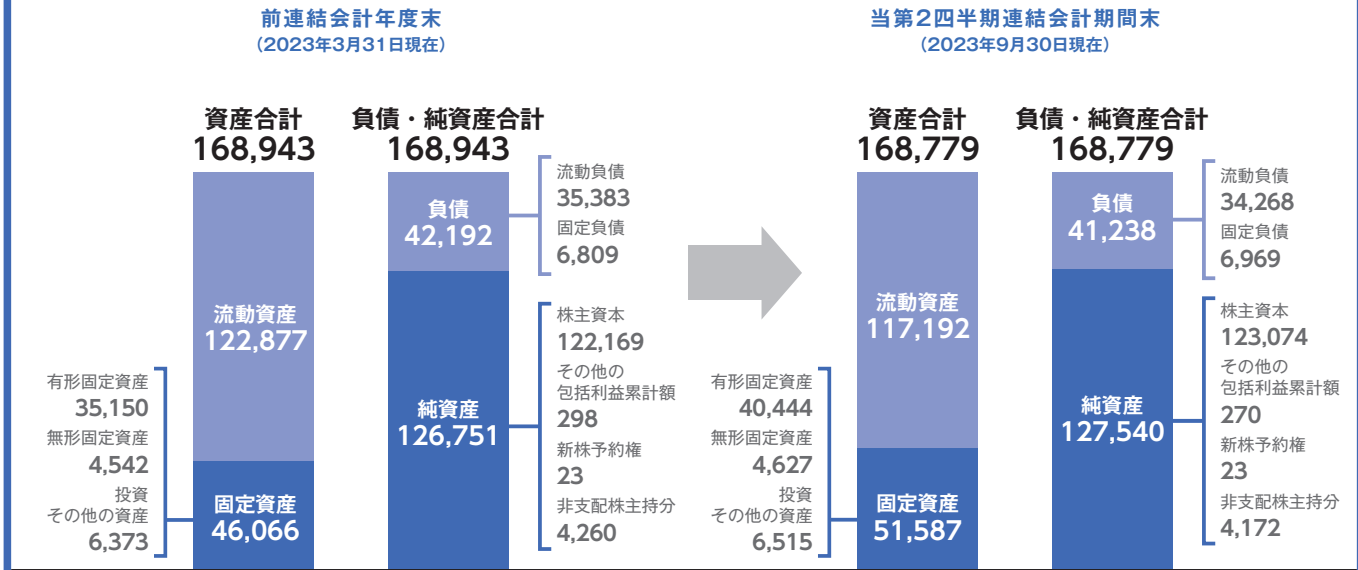
期間	売上高 (百万円)	前年同季比
2023年3月期	1,516	-
2024年3月期	811	10.4% UP

治験実施医療機関支援(SMO)業務で睡眠障害の大型案件への対応や症例獲得数が増加しました。また、調剤薬局事業で診療報酬(薬価)引き下げの影響はあるものの、新型コロナウイルス治療薬の処方箋枚数が増加したことにより、前年同期比10.4%の増収となりました。

3

4

連結貸借対照表の概要 (百万円)



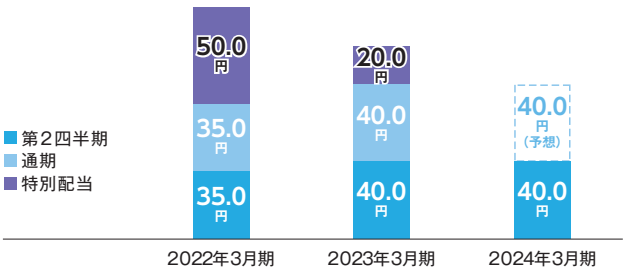
POINT! 資産
流動資産で現金及び預金等が減少した一方、有形固定資産が増加し、168,779百万円（前期末比164百万円減）となりました。

POINT! 負債
流動負債で支払手形及び買掛金が減少し、41,238百万円（前期末比954百万円減）となりました。

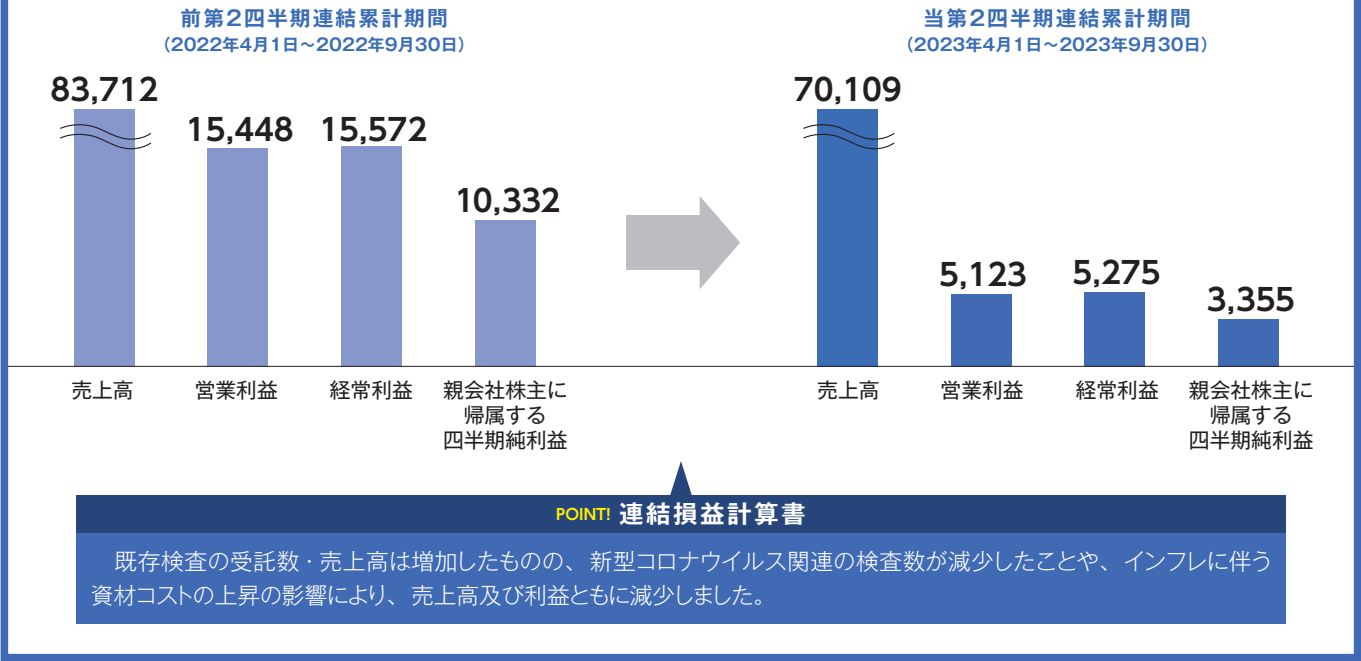
POINT! 純資産
自己株式が増加し、127,540百万円（前期末比789百万円増）となりました。

配当について

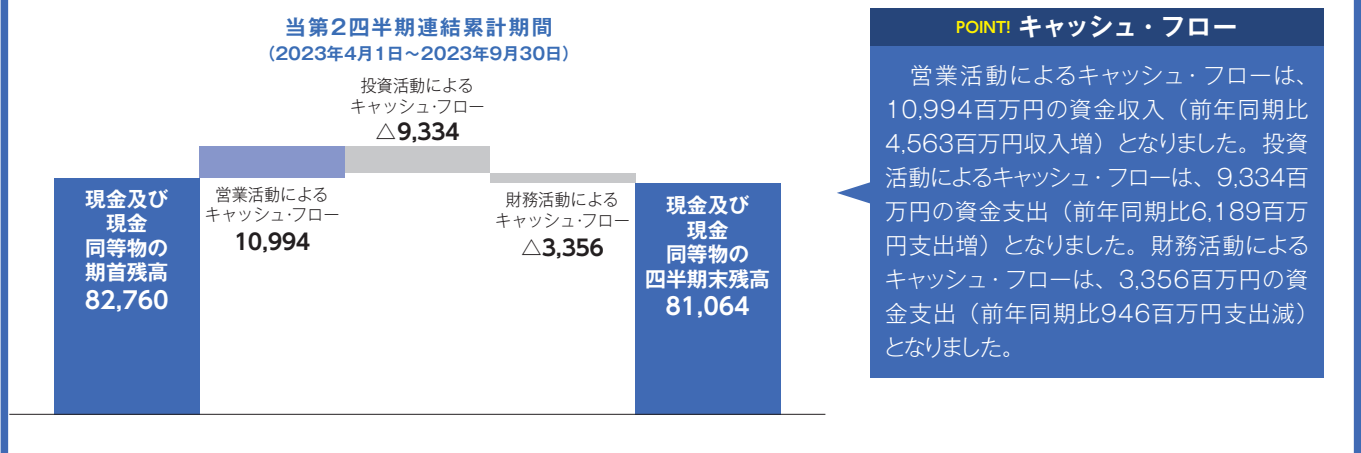
当社グループは、株主さまに対する利益還元を経営の重要課題の一つと位置づけたうえで、安定的な経営基盤の確保と資本利益率の向上に努めるとともに、配当については安定配当の維持・継続を基本方針としつつ、連結業績に応じた配当水準の向上に努めております。なお、当期の中間配当は40円とし、期末配当の40円と合わせて年間では、1株当たり80円の配当となります。



連結損益計算書の概要 (百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (百万円)



株式会社BMLメディカルワークス

BMLの連結対象会社の中から、今回は医療機関からお預かりする「血液」や「尿」などの検体を入れる試験管キットの作製を行っているBMLメディカルワークスをご紹介します。

BMLメディカルワークスは、埼玉県川越市のBML総合研究所の近隣に事業所を構えています。

BMLグループは創業以来半世紀にわたり、臨床検査を通じて常に医療の向上に努め、数多くの実績を積んでまいりました。

その中でBMLメディカルワークスは、病院やクリニックなどの医療機関からお預かりする「血液」や「尿」などの検体を入れる試験管キットの作製を行っております。

特殊検査・研究開発までを網羅するBMLグループを支える存在が、株式会社BMLメディカルワークスです。



主な事業

■ 容器キット作製

治験や健康診断を陰で支える容器のご提供

治験や健康診断の場面では、様々な検査を実施しなくてはなりません。そのために大勢の受診者様がスムーズに検査できるように入念な事前準備が必要となっております。

BMLメディカルワークスでは、治験や健康診断に必要な検査用容器の調達から、容器キットの作製、医療機関や健康診断の実施施設への発送まで、ワンストップで高品質なサービスを提供しております。

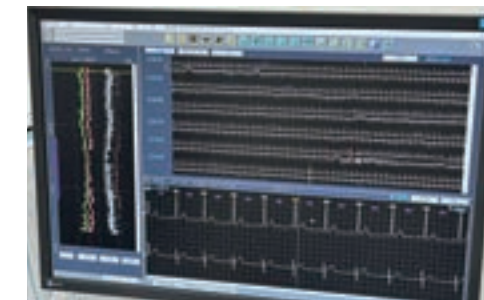


■ ホルター心電図検査

心疾患を見極める心電図波形解析情報のご提供

BMLグループは、主に循環器関連の医療機関からホルター心電図の波形解析を受託しています。

BMLメディカルワークス代々木解析センターにて、患者様に取り付けた携帯型心電計に記録された24時間心電図（ホルター心電図）の波形を解析し、不整脈や心筋梗塞などの治療に必要な情報を提供しております。



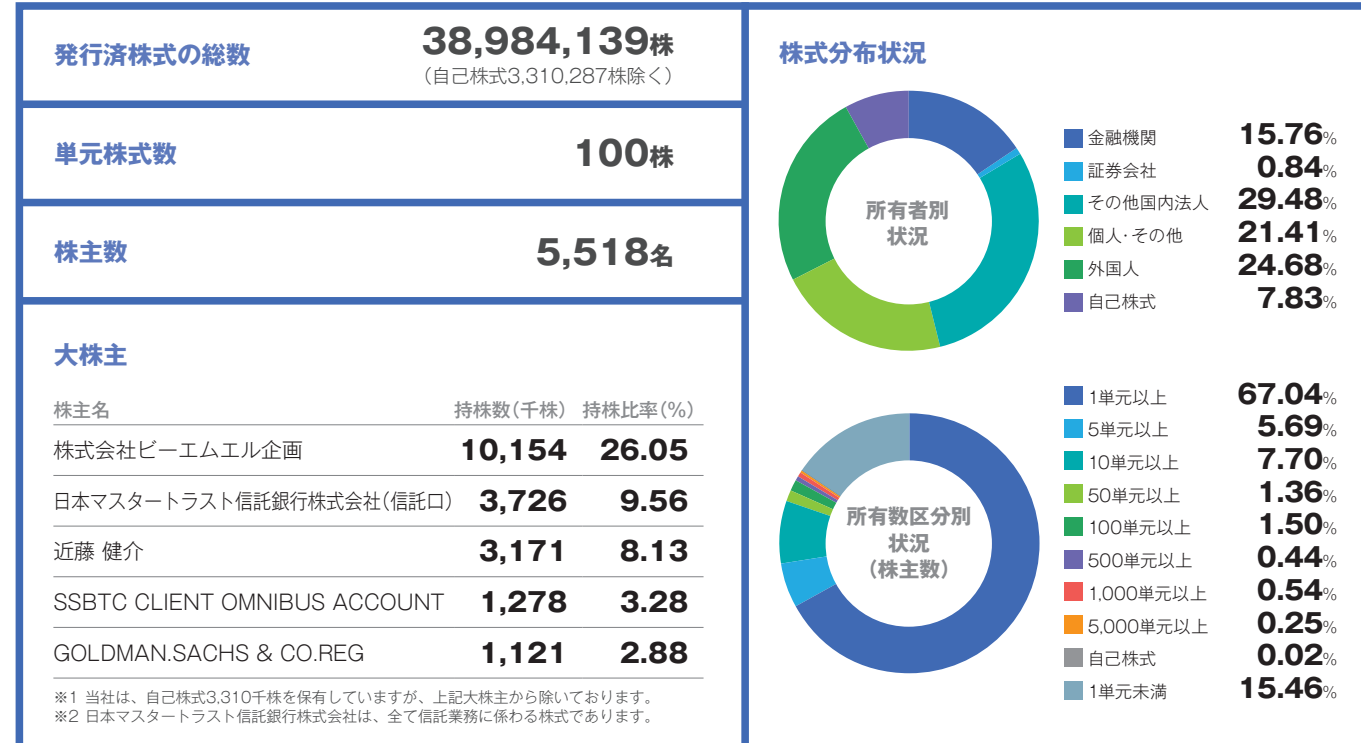
経営理念

世界レベルの品質、絶対安心の製品で日本の医療に貢献する

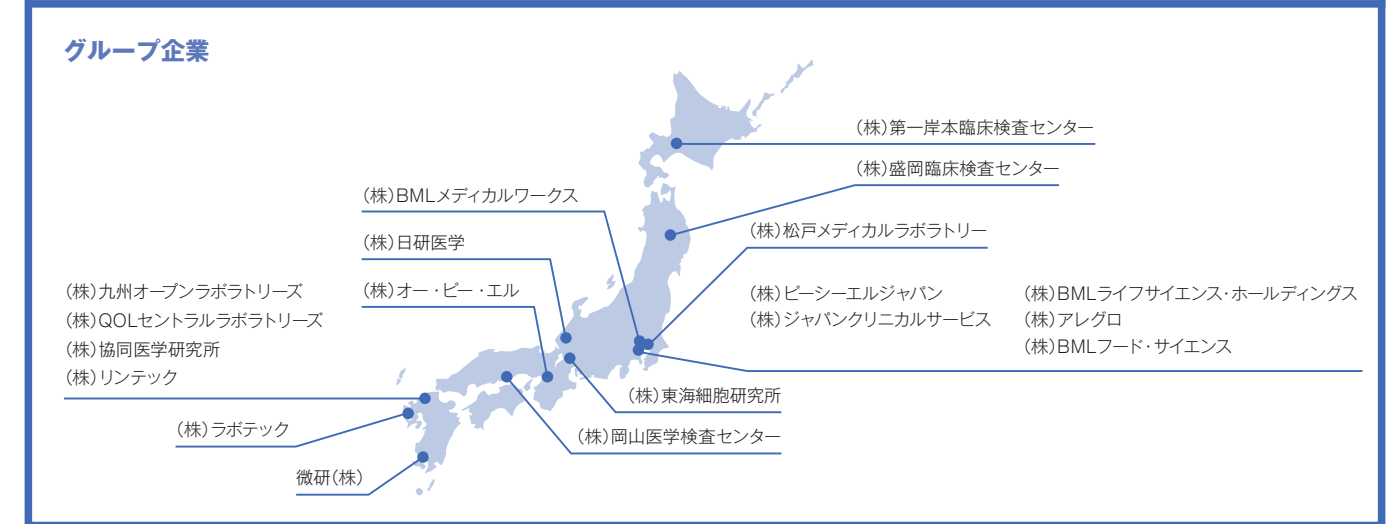
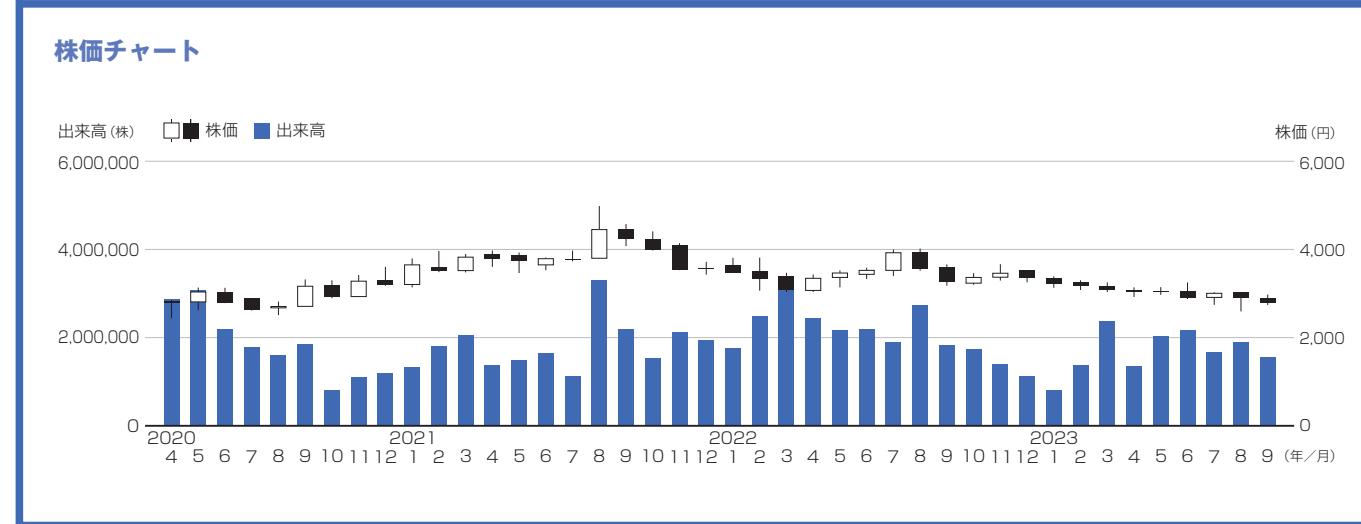
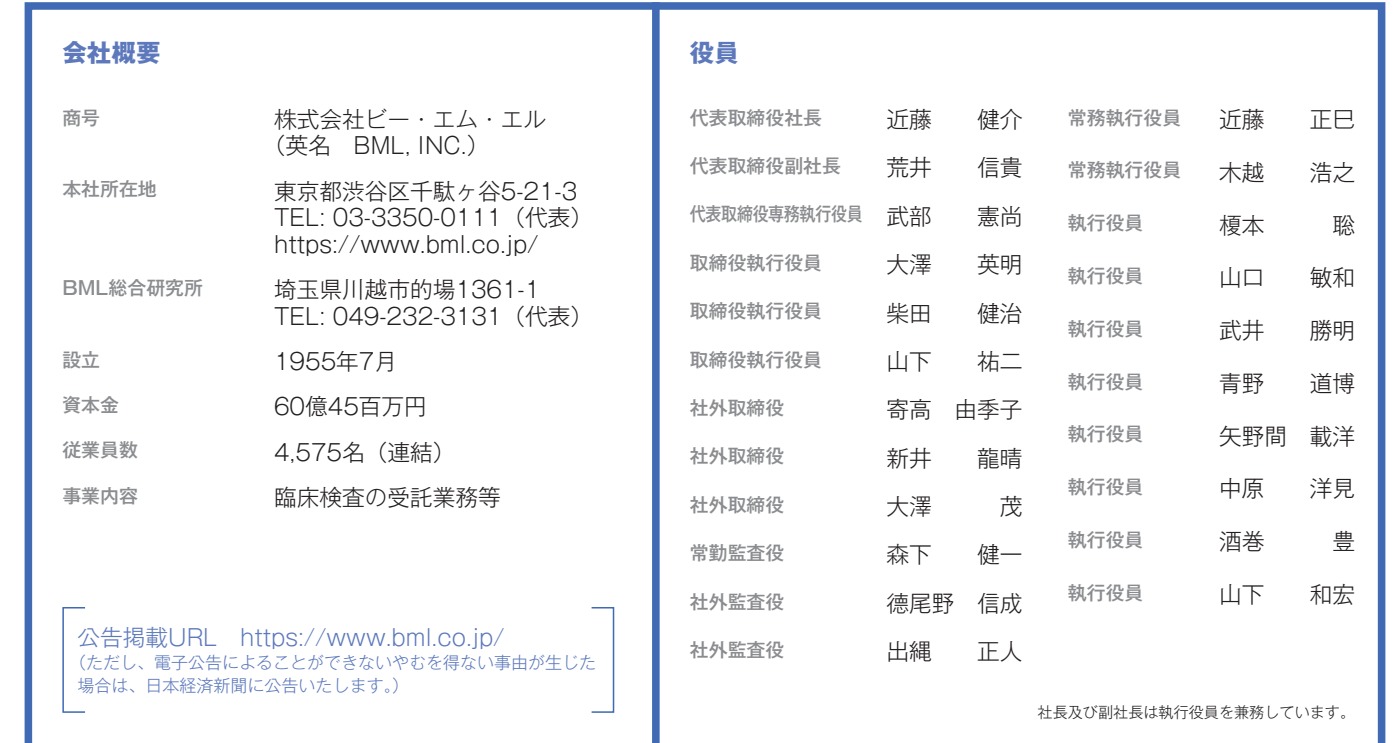
会社概要

設立：1969年	資本金：1,000万円
売上高：194,290万円 (2022年度)	従業員数：183名 (2022年度末)

株式の状況 (2023年9月30日現在)



会社概要 (2023年9月30日現在)



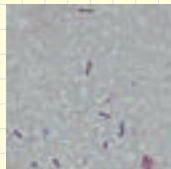
細菌検査課

近年、医療技術の向上と裏腹に耐性菌による重症感染症や多様化した日和見感染症の増加が問題となっています。そのため、迅速かつ正確な診断と適切な抗生剤の選択がより重要になっています。

経験と手法が主流である微生物検査においても、正確で早い結果報告の要望に合わせて、高精度な全自動培養装置や質量分析細菌同定装置をはじめとした最先端の技術を逸早く取り入れ、迅速かつ高精度な検査室の構築に向けて精力的に取り組んでいます。



▲培養検査により培地に発育した細菌



▲染色スライド標本の顕微鏡検査による細菌像



▲全自動培養装置



▲質量分析細菌同定装置



▲顕微鏡音声入力システム



▲自動同定感受性装置①



▲自動同定感受性装置②

こんな検査をやっています!!

当検査室では、細菌、真菌、寄生虫を中心に検査を行っています。まず、喀痰や尿等から作成した染色スライド標本から顕微鏡音声入力システムにより微生物の有無を報告しています。

次に各細菌種用の培地を用いて培養を行い、自動同定感受性装置により、病気の元となる病原細菌名と各種抗生剤の有効性について報告を行っています。

一方、培養に時間を要する結核菌やマイコプラズマ等の特殊目的菌については、リアルタイムPCR法等により臨床材料から直接迅速に検出を行う遺伝子検査を実施しています。

株主メモ

決算期 3月31日
 定時株主総会 6月
 基準日 定時株主総会権利行使株主確定 3月31日
 株主配当金受領株主確定 3月31日
 中間配当金受領株主確定 9月30日

株主名簿管理人 日本証券代行株式会社
 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号
 (〒103-8202)
 株式会社手続き用紙のご請求をインターネットでもお受け付けいたしております。
 URL <https://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html>

各種手続のお申出先

未払配当金のお支払い

株主名簿管理人*

住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等

〈証券会社をご利用の場合〉

お取引のある証券会社

〈証券会社をご利用でない場合〉

特別口座の口座管理機関である
 日本証券代行株式会社*

* 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の全国本支店でも行っております。

(電話お問合せ・郵便物送付先)

日本証券代行株式会社
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 (〒168-8620)
 0120-707-843 (フリーダイヤル)